

日本訪問看護財団ほうもん看護 255 号より

訪問看護に関連する団体には、一般社団法人全国訪問看護事業協会のほかに、公益財団法人日本訪問看護財団があります。そこから発行されている機関誌に「ほうもん看護」があります。

最新号（255号：2018.12.15発行）で、理事長の清水嘉与子氏が看護職の国会議員の活躍を紹介されています。阿部俊子氏が外務副大臣、高階恵美子氏が厚生労働副大臣、石田昌宏氏が参議院厚生労働委員長に就任されたとのこと。看護職が国会議員として様々な看護の課題に取り組んでいるとのこと。看護職で国会議員がいることをご存じでしたか。

また、同じ号に、訪問看護サミット 2018 において地域で活躍する方がシンポジウムを行ったことも紹介されています。その中に「みんなのかかりつけ訪問看護ステーション」の所長さん（藤野泰平氏）の提案があります。ステーションの名前が示すように、かかりつけ看護師を持つことで、助かる人が増えるということです。このステーションでは土日の営業も行っているそうです。また、成果は可視化して介入したことの成果がわかることで、新人の成長にもつながると述べています。

ここで、共感し得たことは、根底に一つの病院、一つの地域だけが良くなることを考えていないと、藤野氏が述べていることです。「看護師の責任で地域を作り、未来を作っていききたい」と述べたことが紹介されています。

もう始まっている人材不足の時代に、地域の社会資源として訪問看護ステーションは、どのように活躍してくのか、広い視野で考える必要があるという思いを強くしています。徳島県訪問看護ステーション連絡協議会が、徳島県の在宅医療を考え、活動展開を協議する場になりたいとおもいます。

徳島県訪問看護ステーション連絡協議会会長 多田敏子